

持続可能な資源国日本へ 循環経済が拓く国家戦略

《緊迫する国際情勢と日本の資源》

現在、中東・ホルムズ海峡をめぐる情勢は予断を許さず、原油輸入の多くを中東に依存する日本にとって、私たちの経済や暮らしに直結する課題です。

こうしたエネルギー・資源供給の脆弱性を踏まえ、政府は2026年4月21日、「循環経済行動計画」を決定しました。資源に乏しい日本が、国内にある資源を有効活用し、海外依存を減らしていくための具体策を解説します。

《循環経済(サーキュラーエコノミー)の真意》

「ワサイクル」という言葉は馴染み深いと思いますが、循環経済はさらに一歩踏み込んだ考え方です。使い終わった製品を資源として再利用するだけでなく、設計段階から、長く使えること、修理しやすいこと、再利用しやすいことまで見据え、できるだけ廃棄物を出さず、資源を循環させ続ける仕組みをつくることを指します。これは単なる環境対策ではなく、産業競争力を左右する新たなルールでもあります。

《世界の資源争奪戦と日本の課題》

今、世界では資源をめぐる国家間の「困い込み」が激化しています。中国は、レアメタルなど重要鉱物の輸出管理を強化する一方、巨大国営

企業を設立し、国内リサイクル網の掌握を進めています。

EUも、電子機器の輸出規制や新車への再生プラスチック使用義務化など、ルール形成を通じて主導権の確保を図っています。

今後、脱炭素社会の実現には、蓄電池や半導体の需要が大きく伸びます。しかし日本では、再利用できる資源の多くが海外へ流出したり、十分活用されないまま廃棄されたりしているのが現状です。

こうした「二次資源」を国内でいかに確保するかが、日本の勝ち筋を左右する鍵となります。

《「不適正ヤード」問題と法改正の意義》

私たちの身近な問題として、金属スクラップを屋外に大量保管する不適切な保管ヤードがあります。ここでは火災事故や盗難品の売買が横行し、地域住民の安全を脅かしてきました。

最大の課題は、業者が「これはゴミではなく、売れる資源(有価物)だ」と主張すれば、これまでの廃棄物処理法では規制しきれなかったという法の空白にありました。

そこで今国会では、廃棄物処理法の一部改正案を提出しています。この改正により、たとえ有価物であっても、使用済みの金属やプラスチックであれば廃棄物と同様の「許可制」の対

象とします。これにより、悪質な業者を排除し、国内の貴重な資源が不正に海外へ流出するのを食い止めます。

《日本の強みを活かした資源自立》

日本には、世界屈指の金属製錬技術があります。この強みを活かし、同盟国などとも連携して、日本をアジアの資源循環のハブ(中心地)にすることを目指します。

資源循環は、環境面での取組にとどまらず、私たちの暮らしに深く関わる重要なテーマです。

現在、石油やナフサなど石油関連製品の安定調達に全力で取り組んでいます。その一方で、国内に目を向ければ、私たちの身の回りには、再利用されずに焼却されたり、海外へ流出したりしている資源も多くあります。

資源に乏しい日本だからこそ、今ある資源を有効に活用することは、私たちが強みを発揮できる分野だと考えます。

一次資源と二次資源の双方をしっかりと活用し、日本の強みを生かしながら、成長する日本の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram



やまもと・さとしん



愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧24歳、当時日本人最年少F1ドライバードビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙(比例代表)に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙(東海ブロック比例代表)に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語スペイン語を話すマルチリンガル。

衆議院議員

山本左近

循環経済 (サーキュラーエコノミー) とは？



持続可能な日本へ：循環経済(サーキュラーエコノミー)が拓く未来

高校生向け解説

循環経済とは？



世界の資源争奪戦と日本の危機



『不適正ヤード』問題と法改正



日本の『強み』で勝負

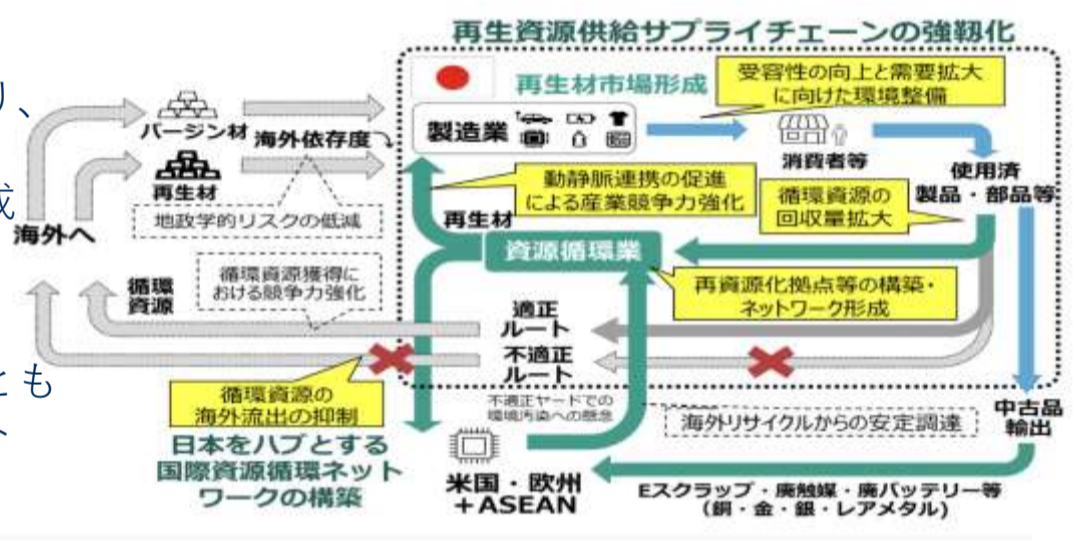


【自律性】

- 再生資源供給サプライチェーンの強靱化により、再生材を質・量・コストの面で安定的に供給
- 再生材需要の創出・拡大を起点とした市場形成

【不可欠性】

- 日本の製錬技術等の優位性を活かし、同志国とも連携し、日本をハブとする国際的資源循環ネットワークを構築



開会中も土日は、地元で活動しています。気軽にイベントなどにお声かけください！



国会の委員会のみならず、自民党本部で行われる各種の部会や調査会で発言し、皆さんの声を政策に反映させています。



毎月定例の早朝の清掃会で、皆さんと一緒に豊橋駅周辺を清掃しました。特にタバコの吸い殻が目立ちます。ポイ捨てはやめて、ゴミは必ずゴミ箱へ！



東幸校区の老人会総会に出席。皆さんからの温かい激励にパワーをいただきました。

JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ